

あなたと議会の情報ネットワーク

あおぞら21

熊本県・みふね町議会



復興の鐘を鳴らす中学生
(10月22日・復興祭)

No.182
10月議会

R4.11

会期日程 10月13日 傍聴人数 1人

審議内容 専決処分の報告、補正予算2件を
全会一致で可決

専決処分

本来、議会の議決・決定を経なければならない事柄について、町長が地方自治法の規定に基づいて、議会の議決・決定の前に自ら処理すること。

一般会計補正額 +9,323 千円 補正後合計額 13,177,592 千円

PickUP 令和4年度補正予算

会計名		補正額	補正後合計額
一般会計		+116,207 千円	13,293,799 千円
水道事業	資本的支出	+3,300千円	261,007 千円

ここがポイント



PickUP

審議の一部を抜粋して掲載しています。他の審議内容はホームページまたは、情報開示コーナーをご覧ください。
このQRコードからどうぞ



防水シートまた補修で57万円

問 田代東部小体育館の屋根補修工事の予算があるが、どのような内容か。

社会教育課長 台風14号で屋根の防水シートが2カ所剥がれた。今回は、そのシートを張り直し、継ぎ目にもう1枚重ねて2枚ずつ張り、土のうを追加で51個設置してシートを抑える。

問 シートを土のうで抑えるだけだと、台風などでずれるたびに補修が必要になってくる。上からタンカ何かを被せて打ち付ける方法もある

と聞いたので検討してはどうか。

社会教育課長 屋根の素材はスレートでコンクリート製で、ここに釘で抑えるということとはできないので、土のうを使っている。

問 できないというのは、どのような考えからか。

社会教育課長 実際に上ってはいないが、素材がスレートと業者に聞いたので、釘で抑えることはできないと判断した。



長い目で見て効率的な購入を

問 備品購入費でチェーンソーが購入されているが、どこから購入したか。

建設課長 町内のホームセンターから購入した。

問 このような専門的な機械は、ホームセンターで購入すると壊れたらそれで終わり。修理して使うことができない。これから風水害が多くなるか

と思うので、専門店の場合、購入時は少し高いが、長い目で見ると安い品物になるのではないかと。

建設課長 今回は、台風被害対応の作業中に以前のチェーンソーが故障して、大至急必要だったのでホームセンターで購入した。今後はそのようなことも踏まえて、購入の際は検討する。

美里町に議会基本条例を伝授

議会改革推進特別委員会 委員長 岩永 宏介

10月24日、美里町議会議員（9名）及び議会事務局職員（2名）が研修のために本町議会を訪問した。

美里町議会は、本年4月に改選が行われ、5月から上田議長のもと、新体制で議会活動を行なっている。この日訪問した議員は6月に立ち上げられた「議会活性化特別委員会」の委員で、新人議員4名も入っていた。

これから『議会基本条例』を作ろうとしていおり、その参考にしたいと、議会基本条例を持つ本町議会を尋ねて来られ、議会改革推進特別委員会が対応した。

研修の流れとしては、御船町議会基本条例制定に至る経緯や条例の主な内容等について、委員長が説明し、その後質疑応答に移った。基本条例制定時の質問は、制定に関わった議員経験の長いベテラン議員が答弁し、基本条例に基づく最近の活動等の質問は、参加した全議員がそれぞれに率直に意見を述べる形で具体的に回答したので、場の

雰囲気も次第に打ち解け、和やかなものになっていき、親睦も深まったように感じた。

御船町議会基本条例の制定は平成22年3月で熊本県初、通年議会については九州初というもので、制定時の先輩議員の卓抜した先見と併せて、制定に向けての尽力に改めて思いを致す機会ともなった。美里町議会の基本条例制定に向けた動きに心からエールを送りたい。



予算・決算委員会審議に向けて要領素案作成

予算決算審査検討特別委員会 委員長 福永 啓

御船町議会ではこれまで、通例で「本会議主義」となっており、陳情・請願を除くほぼすべての議案が、本会議のみで審査されてきた。

以前より、議案の審議等について委員会の活用が議論されており、特に予算・決算審査については、議会における大変重要な権能の一つであることから、予算決算審査・調査をより充実させる観点からも、調査権のある委員会における審査・調査が適当ではないか…等といった議論が交わされてきたものの、具体的な協議までには至らず、その後も本会議での審議にとどまっていた。

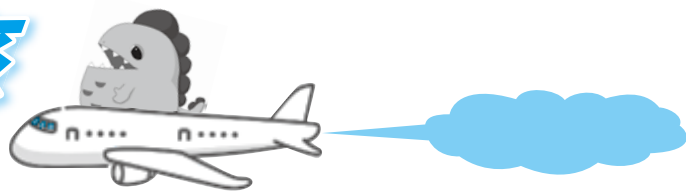
しかし今般、予算・決算審査検討特別委員会が設立され、予算、決算の委員会審議に向けて具体的な協議が始まり、これまで月2回ほどのペース

で委員会を開催し、先進事例の研修や、複数の専門家からの意見聴取などを実施し、委員会審議の経過についてはその都度、議会広報等でお知らせしてきたところである。

今回の委員会では、「予算決算審査・調査に係る委員会要領の素案」という形で、これまでの委員会審議内容をまとめ、委員外の議員に対してもできるだけわかりやすく示すこととした。

その後、全員協議会で委員外の議員の意見を聴取したうえで、後日執行部との協議を行い、それらを踏まえて、委員会としての最終案を作成する予定である。

議員全体研修



10月5日～7日 北海道

- ①10月5日 白老町議会「予算決算特別委員会の運営について」「議会改革の取組みについて」
- ②10月6日 栗山町議会「議会デジタル化について」「議会改革・活性化について」
- ③10月6日 三笠市立博物館「三笠市立博物館の運営について」

1日目

議会の政策提言を町政に反映

予算決算検討特別委員会 委員長 福永 啓

白老町議会は、議会内に政策研究会を設け、執行部に対する政策提言などを積極的に行っている先進的な議会である。議会からの政策提言が町の施策に反映されている面も多く、研修の冒頭、白老町長から「政策提言は執行部にとってもありがたい」という発言もあった。

情報公開にも力を入れている白老町議会では、定例会・議案説明会のほか、特別委員会の会議の

様子が動画で生配信されており、年間 1500 件ほどのアクセスがあったとのことだった。

また、御船町議会で現在検討している予算・決算の委員会審査・調査においても、白老町議会では特別委員会による審査・調査がすでに導入されており、当初予算及び決算においては、おおむね 3 日間の委員会審査・調査が行われていた。

2日目

「出前報告会」で多様な住民が参画

議会改革推進特別委員会 委員長 岩永 宏介

栗山町議会は、わが国で最初に議会基本条例を制定した町で、本町の議会基本条例制定にあたっては視察研修等を含めて色々とお世話になった議会だと先輩議員から聞いていた。

以下、御船町議会の今後のあり方に参考となると思われる事例や視点を列挙する。

- ①従来の行政チェック機関から脱皮し、住民目線で活動、行動する議会に変容している。
- ②住民が参画できる開かれた議会づくりを目指している。
- ③栗山町議会基本条例は、4年半に及ぶ議会改革・活性化策の集大成として制定された。
- ④議会基本条例を状況に応じて見直し、これまで 10 回の改正を行なっている。
- ⑤議会報告会(全国2例目)を補完する「出前報告会」を実施している。これは学生・若者・女性・子育て世代の団体やグループ等を対象として、議員数名が出かけて行って懇談会を行なうもの。

⑥議員相互の自由討議の推進に努めている。これは自由かつ達な討議により、単純な賛否、是非よりも議員間で討議を行うことで合意形成を図ろうとするもの。

⑦政務活動費の使途の透明性を確保するため、税理士による監査を実施している。

⑧議会のデジタル化の推進に努めている。議員に貸与されたタブレットは外出先でも使用可能である。ただ、活用には個人差がある。



三笠ジオパークで町おこし

総務常任委員会 副委員長 増田 安至

昭和30年代に町村合併から生まれた三笠市は、6万人を超える自治体として誕生した。時代の流れに伴い、主産業であった炭鉱が閉鎖され、現在では約8千人になり厳しい財政状況である。平成21年4月「三笠市未来づくり基本条例」を制定し、アンモナイト化石を中心としたジオパークを建設し、町おこしに取り組んでいた。人口減少に伴う厳しい行政のかじ取りはとても大変だと感じた。

御船町の人口は近年1.7万人と安定しているが、未来へ向けた町政の安定運営が如何に大切であるか実感した。今後も議員として御船町の繁栄と発展を誓い職責を果たして行こうと思った。



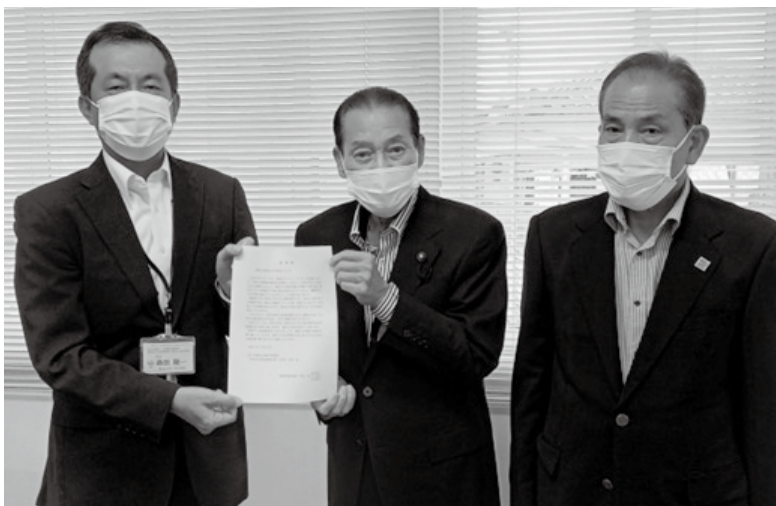
三笠市立博物館で学芸員の説明を受ける議員ら

要望活動

報告会意見を受け御船川堆積土砂の撤去を国へ要望

5月の議会報告会（議会広報No.179 参照）で「町民が安心して生活できる地域となるよう、御船川の改修は喫緊の問題だが、若宮口から小坂橋までの工事が最近全然行われていない。」という意見を受け、10月27日に議長と副議長が緑川上流出張所を訪問し、国土交通省九州地方整備局熊本河川国道事務所長へ「御船川の堆積土砂撤去についての要望書」を提出した。

御船町は、昭和63年5月の集中豪雨で甚大な被害を受けたが、大規模改修が行われ、現在まで堤防氾濫するような大水害は発生していない。しかし近年多発する記録的豪雨等により、昨年も御船川において氾濫危険水位を超え、住民に避難を呼びかけた。





甘木
上田優子

つながりを大切に

ご縁があり、御船町に移り住み15年になります。

その中で子育てを通じ、ママ友はじめ地域の方々と多くの出会いがあり、たくさん経験をさせていただいています。私の宝です。

子供の顔をみれば、「アンタは○の孫だろ！」と声をかけていただき、地域で子供たちを見守っていただいています。とても密接な地域だなあと感じ、とても有り難いです。

誰もが予想だにしなかった熊本地震の時は、子供たちは進級したばかりでした。水が使えない、電気も点かない、トイレも使えない、お風呂も入れない、当たり前だった日常が奪われました。地域の方と声を掛け合い、励まし合いなが

ら生活したことを思い出します。人と人とのつながりの有り難さを実感しました。

熊本地震で甚大な被害を受けた私の地域は、近年跡取りが実家に帰り、また移住者も増えてきて、地域に活気がでてきたように感じています。

町も復旧期から復興期に入り、田園地帯であった御船インター東側にコストコはじめ多くの企業が立地し、また複合型宿泊施設もオープンして、町の復興の息吹を感じています。私たちの楽しみも増えました。

これから人と人のつながりを大切にし、感謝を忘れず楽しく歩んでいきたいと思っています。

議会の予定 12月

- 12月2日 全員協議会
- 12月8日 議会（予定）
- 14日
- 12月8日 産業厚生常任委員会（議会終了後）
- 12月26日 御船地区衛生施設組合臨時議会（予定）

議会HPはこちら



モニターコラム



議会モニター2期
目に期待すること

1期目に感じたことは職員、議員の方々行政の予算面に対し結構緻密な討議をされていることを実感しました。しかし、細かすぎる討議と感じたことも多々あり行政における大枠を決議すれば事足りるのではないのでしょうか。時間の浪費と慮されます。

また、議員さんの質問に対し職員の方々も予測されることは判るわけですので、事前に調べておく必要があると考えます。後日回答しますでは、一般企業では駄目です。

次に今後はもう少し町の活性化に対し議員の方々も討議して行くべきではないでしょうか。



門岡健一
議会モニター

そのことが税収を増やせることの持続化に繋がると考えられます。活性化とは人の増加、即ち人口が増加することです。一時しのぎの「イベント」だけでは町の税収は増加しません。農振の問題もありますが、早急に「ベッドタウン」化を計画推進することが人口増加に結び付くことと慮されます。熊本市内へも適当な通勤、通学の距離です。交通機関等も包含した計画を早急に策定し行政議員一丸となり討議進めて頂きたいと切望します。町の将来の為に。